

(13) 学習支援者への謝金・交通費

① 学習支援者への謝金

(教室)

	支払われている	支払われていない	記述・選択なし
識字教室	17	5	2
日本語教室	25	75	6
識字・日本語教室	30	29	2
全体	72	109	10

❖ 学習支援者への謝金について

- ・全体では、「支払われている」と回答した割合は、約 38%となっている。
- ・教室の位置づけ別にみると、「支払われている」と回答した割合は、識字教室では 71%、日本語教室では約 24%、識字・日本語教室では約 49%となっている。

② 学習支援者への交通費

(教室)

	支払われている	支払われていない	記述・選択なし
識字教室	2	13	9
日本語教室	29	71	6
識字・日本語教室	6	44	11
全体	37	128	26

(14) 学習支援者の募集方法

複数回答可(教室)

	全体	識字教室	日本語教室	識字・日本語教室
ア 市町村の広報誌やホームページ	97	6	58	33
イ 教室の広報誌やチラシ	57	0	42	15
ウ 教室のホームページやSNS	40	2	30	8
エ 自治会など市町村のさまざまな団体を通じた人的ネットワーク (外部団体のホームページ・外部団体からの紹介含む)	43	4	29	10
オ 学習支援者や学習者の口コミ	120	14	68	38
カ 学習支援者養成講座(ボランティア養成講座)	76	1	52	23
キ その他	38	9	20	9
ク 記述・選択なし	4	1	2	1

(識字教室:24 教室 日本語教室:106 教室 識字・日本語教室:61 教室)

(その他について)

- ・募集は行っていない
- ・教室主催の多文化ボランティアセミナー
- ・小・中学校長に学習支援者を推薦依頼する
- ・近隣の学校の教員に依頼している
- ・大学にポスター掲示
- ・国際交流協会のホームページ
- ・FMラジオ放送において募集
- ・大学との連携
- ・他の教室のボランティアに協力を依頼している
- ・国際交流協会季刊誌
- ・教育委員会に依頼

(15) 各種研修

①教室の外部で行われた指導方法研修への参加について

(教室)

		全体	識字教室	日本語教室	識字・日本語 教室
ア	参加した学習支援者がいる	79	5	46	28
イ	参加した学習支援者はいない	15	6	1	8
ウ	把握していない	91	11	56	24
	記述・選択なし	6	2	3	1

❖ 教室の外部で行われた指導方法研修への参加について

- ・全体では、「参加した学習者支援者がいる」と回答した割合は、約41%となっている。
- ・教室の位置づけ別にみると、「参加した学習者支援者がいる」と回答した割合は、識字教室では約21%、日本語教室では約43%、識字・日本語教室では約46%となっている。

②学習支援者への指導方法研修の実施について

【1. 実施の有無】

複数回答可(教室)

		全体	識字教室	日本語教室	識字・日本語教室
ア	教室独自で実施	54	3	38	13
イ	他の教室と合同で研修を実施	27	0	20	7
ウ	実施していない	98	18	45	35
	記述・選択なし	19	3	9	7

(識字教室:24 教室 日本語教室:106 教室 識字・日本語教室:61 教室)

❖ 学習支援者への指導方法研修の実施について

- ・全体では「学習支援者への指導方法研修を実施している教室数」は、74 教室(約 39%)であった。
- ・教室の位置づけ別にみると、「学習支援者への指導方法研修を実施している教室数」は、識字教室では 3教室(約 13%)、日本語教室では 52 教室(約 49%)、識字・日本語教室では 19 教室(約 31%)であった。

【2. 経費】

複数回答可(教室)

参加者から	4
教室運営費から	16
行政から	29
その他(国際交流協会から、教室運営者等の講義により費用はかかっていない)	23
記述・選択なし	9

③教室の外部で行われた人権研修への参加について

(教室)

		全体	識字教室	日本語教室	識字・日本語教室
ア	参加した学習支援者がいる	56	5	18	33
イ	参加した学習支援者はいない	18	5	8	5
ウ	把握していない	107	12	74	21
	記述・選択なし	10	2	6	2

❖ 教室の外部で行われた人権研修への参加について

- ・全体では、教室の外部で行われた人権研修に「参加した学習者支援者がいる」と回答した割合は、約 29% となっている。
- ・教室の位置づけ別にみると、教室の外部で行われた人権研修に「参加した学習者支援者がいる」と回答した割合は、識字教室では約 21%、日本語教室では約 17%、識字・日本語教室では約 54%となっている。

④参加した人権研修のテーマについて

複数回答可(教室)

同和問題	31
高齢者	15
在日外国人	42
子ども	12
男女平等	22
LGBT等、性の多様性	22
障がい者	25
その他(ハンセン病、アイヌ民族、認知症)	7
記述・選択なし	1

⑤教室での人権研修の実施について

【1.実施の有無】

複数回答可(教室)

		全体	識字教室	日本語教室	識字・日本語 教室
ア	教室独自で実施	23	6	6	11
イ	他の教室と合同で研修を実施	13	0	10	3
ウ	実施していない	147	16	85	46
	記述・選択なし	9	2	5	2

(識字教室:24 教室 日本語教室:106 教室 識字・日本語教室:61 教室)

❖ 教室での人権研修の実施について

- ・全体では、「教室での人権研修を実施している教室数」は、35 教室（約 18%）であった。
- ・教室の位置づけ別にみると、識字教室では6教室（25%）、日本語教室では 16 教室（約 15%）、識字・日本語教室では 13 教室（約 21%）であった。

【2. 対象】

複数回答可（教室）

学習者	16
学習支援者	31
その他（地域住民、広報を見た方）	6
記述・選択なし	1

【3. テーマ】

複数回答可（教室）

同和問題	14
高齢者	2
在日外国人	24
子ども	1
男女平等	3
LGBT等、性の多様性	3
障がい者	3
その他（環境問題、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント）	5
記述・選択なし	0

【4. 経費】

複数回答可(教室)

参加者から	0
教室運営費から	5
行政から	10
その他(国際交流協会から、費用はかかっていない)	16
記述・選択なし	5

【5. 実施回数】

(教室)

1回	14
2~3回	16
4回以上	2
記述・選択なし	3

【6. 実施形式】

複数回答可(教室)

講義・講演会	26
ワークショップなどの 参加・体験型学習	14
施設見学会	0
その他	3
記述・選択なし	5